

令和2年度 シラバス

科目名	リハビリテーション特論	演習	(30)時間	前期	第I学科3学年	講師	専任教員
実務経験	音頭教員: 理学療法士として20年以上の実務経験あり 西村教員: 理学療法士として10年以上の実務経験あり 金島教員: 理学療法士として7年以上の実務経験あり 吉田教員: 理学療法士として10年以上の実務経験あり 門脇教員: 理学療法士として8年以上の実務経験あり 中野教員: 理学療法士として11年以上の実務経験あり 久保教員: 理学療法士として12年以上の実務経験あり 森教員: 理学療法士として10年以上の実務経験あり 橋本教員: 理学療法士として11年以上の実務経験あり						
到達目標	臨床総合実習にむけて基礎的な知識を習得する						
履修上の注意	各項目によって担当教員が異なるため、随時確認すること。						
成績評価方法	試験及び出席により評定する						
教科書	なし						
参考書	配布資料						

週数	項目	担当教員	授業内容
第1週目	喀痰等の吸引	久保	吸引の意義・目的とその方法
第2週目	職場管理・職業倫理	音頭	リハビリテーションの職場の管理・理学療法士として必要な倫理
第3週目	医療・介護領域における概論	吉田	医療・介護領域における概論
第4週目	実習について	吉田	実習について
第5週目	救急救命	久保	救急救命の概要
第6週目	車椅子移乗、シーティング	中野	トランスファーの方法と適切なシーティング
第7週目	車椅子移乗、シーティング	中野	トランスファーの方法と適切なシーティング
第8週目	薬理について	金島	薬の作用・副作用の理解とリスク管理
第9週目	リハビリテーション栄養	金島	栄養状態の把握、血液データの診かた
第10週目	起き上がり、ベッド上での介助	西村	ベッド上での移動、ポジショニング、起き上がりの介助における注意点
第11週目	歩行観察・分析	森	立ち上がりや歩行における動作観察・分析
第12週目	歩行観察・分析	森	立ち上がりや歩行における動作観察・分析
第13週目	訪問リハビリテーション	橋本	制度(医療・介護保険での訪問リハビリテーションの違い、必要書類など)
第14週目	訪問リハビリテーション	橋本	訪問リハビリテーションにおける注意点(リスク管理や住環境の評価)
第15週目	画像の診かた	門脇	脳画像、胸部画像など
備考	講義を行う順番は変更の可能性あり。		

令和2年度 シラバス

科目名	理学療法評価学演習Ⅲ	演習	(30)時間	前期	第I学科3学年	講師	門脇 辰弥
実務経験	理学療法士として8年以上の実務経験あり						
到達目標	OSCEにおける臨床技能の理解と習得						
履修上の注意	実技の場合は白衣を着用すること						
成績評価方法	OSCE試験						
教科書	PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編						
参考書	なし						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	オリエンテーション	技能習得のための確認事項
第2週目	関節可動域運動	技能の理解と実技
第3週目	関節可動域運動	実技演習
第4週目	筋力増強運動	技能の理解と実技
第5週目	筋力増強運動	実技演習
第6週目	部分荷重練習	技能の理解と実技
第7週目	呼吸練習・排痰手技	技能の理解と実技
第8週目	起き上がり	技能の理解と実技
第9週目	起立・着座	技能の理解と実技
第10週目	起立・着座	実技演習
第11週目	移乗	技能の理解と実技
第12週目	移乗	実技演習
第13週目	歩行	技能の理解と実技
第14週目	歩行	実技演習
第15週目	その他の運動療法	技能の理解と実技
備考	項目によって他の専門教員となることがある。また講義順序の変更の可能性あり。	

令和2年度 シラバス

科目名	理学療法評価演習Ⅳ	演習	(30)時間	前期	第Ⅰ学科3学年	講師	門脇 辰弥
実務経験	理学療法士として8年以上の実務経験あり						
到達目標	解剖学、生理学、運動学の基礎知識を修得する。						
履修上の注意	居眠りをしない						
成績評価方法	試験(中間試験・定期試験)70%と出席30%で評定						
教科書	なし						
参考書	配布資料						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	解剖学、生理学、運動学	骨格系(基礎)、細胞生理、力学の基礎
第2週目	解剖学、生理学、運動学	骨格系(体幹)、筋生理、運動器の構造と機能
第3週目	解剖学、生理学、運動学	骨格系(上肢帯)、筋生理、運動の中枢機能
第4週目	解剖学、生理学、運動学	骨格系(手関節)、神経生理、運動とエネルギー代謝
第5週目	解剖学、生理学、運動学	骨格系(下肢)、神経生理、四肢と体幹の運動
第6週目	解剖学、生理学、運動学	筋系(上肢)、神経生理、四肢と体幹の運動
第7週目	解剖学、生理学、運動学	筋系(下肢)、感覚生理、四肢と体幹の運動
第8週目	解剖学、生理学、運動学	筋系(体幹)、感覚生理、四肢と体幹の運動
第9週目	解剖学、生理学、運動学	筋系(顔面)、感覚生理、四肢と体幹の運動
第10週目	解剖学、生理学、運動学	神経系(中枢)、呼吸・循環、四肢と体幹の運動
第11週目	解剖学、生理学、運動学	神経系(中枢)、嚥下・消化・吸収、四肢と体幹の運動
第12週目	解剖学、生理学、運動学	神経系(末梢)、排泄・内分泌、四肢と体幹の運動
第13週目	解剖学、生理学、運動学	脈管系、栄養・代謝、歩行
第14週目	解剖学、生理学、運動学	内臓諸器官、運動生理、立ち上がり動作
第15週目	解剖学、運動学	感覚器、歩行動作
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	国家試験対策総合演習 I	演習	(60)時間	後期	第 I 学科3学年	講師	橋本 貴之
実務経験	理学療法士として11年以上の実務経験あり						
到達目標	国家試験に向けて知識を深める。						
履修上の注意	問題自体を覚えるのではなく、問題の中身について位階するように努める						
成績評価方法	国家試験形式で筆記試験を実施する。						
教科書	国試の達人						
参考書	必要に応じてその都度紹介						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	国家試験対策	共通問題
第2週目	国家試験対策	共通問題
第3週目	国家試験対策	共通問題
第4週目	国家試験対策	共通問題
第5週目	国家試験対策	共通問題
第6週目	国家試験対策	共通問題
第7週目	国家試験対策	共通問題
第8週目	国家試験対策	共通問題
第9週目	国家試験対策	共通問題
第10週目	国家試験対策	共通問題
第11週目	国家試験対策	共通問題
第12週目	国家試験対策	共通問題
第13週目	国家試験対策	共通問題
第14週目	国家試験対策	共通問題
第15週目	国家試験対策	共通問題
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	国家試験対策総合演習Ⅱ	演習	(60)時間	後期	第Ⅰ学科3学年	講師	橋本 貴之
実務経験	理学療法士として11年以上の実務経験あり						
到達目標	国家試験に向けて知識を深める。						
履修上の注意	問題自体を覚えるのではなく、問題の中身について位階するように努める						
成績評価方法	国家試験形式で筆記試験を実施する。						
教科書	国試の達人						
参考書	必要に応じてその都度紹介						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第2週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第3週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第4週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第5週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第6週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第7週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第8週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第9週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第10週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第11週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第12週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第13週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第14週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
第15週目	国家試験対策	専門問題(実地問題)
備考		

令和2年度 シラバス

科目名	理学療法学研究論	演習	(60)時間	前期	第I学科3学年	講師	門脇 辰弥
実務経験	理学療法士として8年以上の実務経験あり						
到達目標	理学療法における基礎研究の目的・意義を理解する						
履修上の注意	課題の提出期限遵守すること						
成績評価方法	講義態度 出席状況 提出課題 研究発表						
教科書	理学療法研究法 医学書院						
参考書	特になし						

週 数	項 目	授業内容
第1週目	研究計画	研究計画書作成(目的)①
第2週目	研究計画	研究計画書作成(目的)②
第3週目	研究計画	研究計画書作成(目的)③
第4週目	文献収集	文献検索と文献収集
第5週目	文献抄読	収集文献抄読
第6週目	文献読解	収集文献読解
第7週目	研究論文作成	「はじめに」作成
第8週目	研究論文作成	「要旨」作成
第9週目	研究論文作成	「要旨」作成
第10週目	研究論文作成	本文作成
第11週目	研究論文作成	本文作成
第12週目	発表資料作成	パワーポイント作成
第13週目	発表原稿作成	原稿構成作成
第14週目	研究発表	個人発表
第15週目	研究発表	個人発表
備考		